

新規事業採択時評価項目調書

1	事業概要	事業名	一般国道491号 道路改築事業			
		事業場所	ながとしたわらやま 長門市俵山 地内			
		事業主体	山口県			
		事業期間	令和 6 年度 ~ 令和 15 年度 (西暦 2024 年度 ~ 2033 年度)	総事業費 (用地補償費)	750 百万円 (30 百万円)	
		事業目的	<p>長門市俵山地内においては、国により、山陰道（一般国道491号 俵山・豊田道路）の整備が進められている。また、長門市では、当該道路の整備に合わせ、俵山温泉IC（仮称）付近において、地域の活性化を目的とした「俵山地区小さな拠点づくり」を行う予定である。</p> <p>このため、俵山温泉IC（仮称）と県道美祢油谷線間の道路整備を行い、俵山地区へのアクセス性を強化し、地域間の連絡強化や地域住民の利便性の向上、安全で円滑な交通の確保を図るものである。</p>			
2	評価の視点	(1) 社会経済状況	事業内容	<p>○延長 L=0.4 km ○幅員 全幅9.75m(車道3.0×2=6.0m、歩道2.5m) ○道路区分 第3種第3級 ○計画交通量 2,900~3,000台/日</p>		
			事業効果	<p>○山陰道や「俵山地区小さな拠点」へのアクセス道路として機能し、地域間の連絡強化や地域の活性化に寄与する。 ○安全で円滑な交通が確保され、地域住民の利便性が向上する。 ○災害時に機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築に寄与する。</p>		
2	評価の視点	(1) 社会経済状況	当地区 の社会経済情勢	<p>長門市は、面積約357 km²、人口約3万1千人の市である。 当該区間周辺において、国による山陰道俵山・豊田道路が事業化されたほか、俵山温泉IC（仮称）付近において、「俵山地区小さな拠点づくり」（各種生活支援機能を集約・確保する取組や地域の資源を活用し、しごと・収入を確保する取組）が計画されており、今後、地域の拠点としての機能が見込まれるため、当該路線の整備が求められている。</p>		
			関係市町及び 地元の意向	<p>【関係市町の意向】 地元自治体である長門市から早期整備の要望がある。 【地元の以降】 地元は事業の整備に概ね協力的である。</p>		

2 評価の視点	(2) 事業の投資効果	費用対効果等	<p style="text-align: right;">(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">主な項目</th> <th>事業採択時 (基準年：R5)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>全体事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">便益 (B)</td> <td>①走行時間短縮便益</td> <td>1,374</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②走行経費減少便益</td> <td>46</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③交通事故減少便益</td> <td>44</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④その他の便益</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>総便益</td> <td>1,464</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">費用 (C)</td> <td>①事業費</td> <td>532</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②維持管理費</td> <td>39</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③その他</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>総費用</td> <td>571</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">費用便益比 (B/C)</td> <td>2.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【費用対効果分析手法】</p> <p>「費用便益分析マニュアル (R4.2)」 基準年：R5 平成27年度道路交通センサスベース 令和22年推計交通量</p>	区分	主な項目	事業採択時 (基準年：R5)	備考	全体事業	便益 (B)	①走行時間短縮便益	1,374		②走行経費減少便益	46		③交通事故減少便益	44		④その他の便益			総便益	1,464		費用 (C)	①事業費	532		②維持管理費	39		③その他			総費用	571		費用便益比 (B/C)		2.6	
	区分	主な項目	事業採択時 (基準年：R5)			備考																																			
全体事業																																									
便益 (B)	①走行時間短縮便益	1,374																																							
	②走行経費減少便益	46																																							
	③交通事故減少便益	44																																							
	④その他の便益																																								
	総便益	1,464																																							
費用 (C)	①事業費	532																																							
	②維持管理費	39																																							
	③その他																																								
	総費用	571																																							
費用便益比 (B/C)		2.6																																							
3 環境	(3) コスト縮減・代替案等の可能性	コスト縮減	盛土工の施工にあたっては、国や他の公共事業と土砂流用及び工事用道路の共用等の調整を図る。																																						
	代替案	<p>【代替案の検討状況】</p> 山陰道の俵山温泉IC（仮称）と県道美祢油谷線をつなぐ道路としてバイパス整備することとし、走行性、経済性、施工性等を総合的に勘案し、最適なルートを選定している。																																							
3 環境	配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> 騒音の少ない建設機械を使用することにより、周辺環境に配慮した施工を行う。 橋梁工事での汚濁対策として、沈砂池や汚濁処理フィルター等を設置する。 																																							

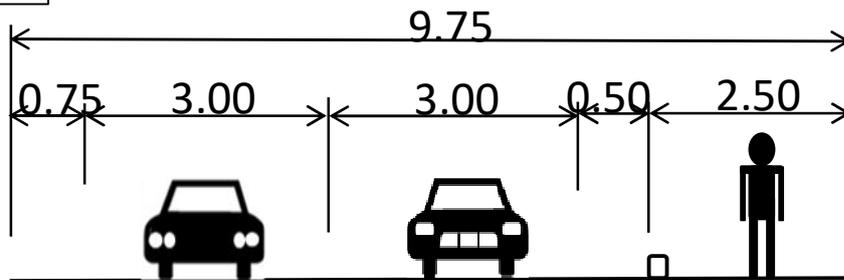
【用語説明】

事業名 一般国道491号 道路改築事業

事業概要図



標準断面図



写真



現道の状況



周辺道路の状況 (幅員狭小)